

下蒲刈地区生活バス【令和3年4月1日再編実施】

1 再編までの取組

令和元年 11月	下蒲刈町の全世帯を対象に「下蒲刈地区生活バスに関するアンケート」の実施 (11月12日(火)から12月10日(火)まで) 配布数：660世帯・1,320枚 回収数(回収率)：304枚(23.0%) 協力：呉工業高等専門学校
令和2年 7月	アンケート結果の全世帯配布
10月	実証実験の案内を全世帯に配布, 車両の小型化実施
11月	実証実験実施 ①デマンド運行(下島地区) ②フリー乗降(大地蔵地区) ③乗り放題運賃(定額運賃)
12月	実証実験に対するアンケートの実施 配布数：660世帯, 回収数(回収率)：46枚(7.0%)
令和3年 2月	令和3年4月からの運行についての案内を全世帯に配布
4月	運行開始(運行事業者：ひまわり交通株式会社)

2 再編内容

- (1) 路線定期運行の継続(デマンド運行の導入はなし)
- (2) バス停の新設(2か所：「下蒲刈病院」及び「コメリ」)
- (3) フリー乗降の実施(大地蔵地区)
- (4) 利用実態に応じた運行便数の適正化
(平日▲4便(22便→18便), 土休日▲16便(16便→0便))



3 今後の取組

利用者の大半が大地蔵地区の住民であることから、今後、当該地区の住民との意見交換を行いながら、利用促進に努めるとともに、より利用しやすいものとなるよう、今後も改善を続けていきます。